



コンクール

2006年9月19日から2006年9月23日に、ドイツ連邦共和国のベルリンフィルハモニにおいてコンクールを開催します。申は、2006年3月1日までに、申用紙と、自分の演奏を音したCDをコンクール事務局に送る必要があります。

コンクール要項

オーディオ予選

- CDには、自由曲と、以下の課題曲から少なくとも1曲を演奏したものを音する必要があります。
 - J. S. Bach: 平均率第1から、プレリウドとフガ As-Dur
 - W. A. Mozart: ロンド D-Dur KV 485
 - F. Mendelssohn-Bartholdy: "無言歌 から つむぎ歌
 - S. Rachmaninoff: プレリウド gis-Moll op.32 No.12

演奏時間は、30分以内です。

• 第1次予選

オーディオ予選から60人以上を選考し、受者が航空券を手配できるように4月1日までに合否を通知します。第1次予選の演奏曲目は自由ですが、演奏時間は12分以内です。第1次予選は9月19日（火曜日）20日（水曜日）に行います。

• 第2次予選（セミファイナル）

第1次予選の予選通過者を18人以上を選考し、9月20日の夜に表します。第2次予選の演奏曲目は自由で、演奏時間は20分以内です。第2次予選は9月21日に、フィルハモニのヘルマンウォルフザルで行います。

• 第3次本選（ファイナル）

第2次予選（セミファイナル）の予選通過者6人を、9月21日の夜に表します。通過者は、9月22日（金）午前にピアノコンチェルトのピアノパトの一部を演奏し、夜に室ホルでソロコンサートを行います。ソロコンサートの演奏曲目は自由で、演奏時間は30分以内です。

その2回の演奏をもとに合格者を3人選考します。合格者は、23日(土)午後、オーケストラとのピアノコンチェルトを大ホールで行います。ピアノコンチェルトは、以下の3曲からの選曲となります。

- L. van Beethoven : ピアノコンチェルト 第3番 op. 37 c-Moll
- E. Grieg : ピアノコンチェルト op. 16 a-Moll
- S. Prokofiev : ピアノコンチェルト 第1番 op. 10 Des-Dur

ベルリンでいちばん有名なアマチュア「シンフォニオケストラジュネベルク」が、著名指揮者ミヒャエルザンデリングの下、オーケストラパトを担します。

3人のファイナリストは、23日(土)午前に、オーケストラとのリハサルを各1時間ずつ行うことができます。ピアノコンチェルトの後、受賞表が行われ、その後、受賞記念晩餐が催されます。

各予選の演奏曲目は自由ですが、各音的時代(バロック期、古典派、ロマンティック、モダン、現代)からバランスよく選曲することが望まれます。同じ曲を繰り返して演奏することはできません。また1曲完全に演奏する必要があります。なお、譜を使用することはできます。

□加者の各予選における演奏順序は、くじ引きによって決定されます。ホールでのリハサルはコンクル事務局によって指定された時間に行います。

コンクルと並行して、9月22日には、コンクル全受者象(ファイナリスト以外)による「ピアノマラソン」、その他、著名ピアニストを招いてのマスターコース、ピアノ連の室が予定されています。

□加者は、1人あたり100ユーロの加費を、3月1日の締切日までにコンクル事務局に納入しなければなりません。予選不合格者には、コンクル事務局から最高30ユーロが返されます。宿泊については、コンクル事務局が格安で紹介します。コンクル期間の練習場は、事務局が用意し、各受者はコンクル財の委員が付き添います。

20.03.2005